

光市新市誕生20周年

記念事業実施報告書

令和7年3月

光市

目次

はじめに	- 1 -
記念事業のテーマとコンセプト	- 1 -
記念事業一覧	- 3 -
記念事業	- 4 -
参考資料	- 2 3 -

はじめに

● 概要

令和6年度に新市誕生20周年を迎えるに当たり、本市ににぎわいや明るさをもたらし、「オールひかり」のまちづくりを前進させ、本市の魅力を対外的に発信できるよう、市民の皆様からいただいたアイデア等を参考にして企画・立案した「光市新市誕生20周年記念事業」を実施しました。

● 事業実施期間

令和6年5月～12月までの8箇月間

記念事業のテーマとコンセプト

● 概要

庁内組織である「光市新市誕生20周年記念事業推進プロジェクトチーム」を中心に、記念事業のテーマとコンセプトについて議論を重ね、市として記念事業のテーマとコンセプトを決定しました。

◇ テーマ

ありがとう 20年 つながろう 人と かがやこう 未来へ

◇ コンセプト

「まち」と「ひと」への20年分の感謝の気持ちを表すとともに、市民一人ひとりの思いをつないで、「光」輝く未来への歩みを進める。

● テーマとコンセプトについて

20周年記念事業の理念として、広く市民に呼び掛ける「テーマ」と、テーマを踏まえた「コンセプト」を設けます。「コンセプト」は、記念事業の検討や実施に当たり、大切にしたい考え方や趣旨となります。

● 記念事業のテーマに込めた思いやポイント

感謝の気持ち、人とのつながり、光り輝く未来といった要素を端的に表しています。

年少者を念頭に、誰もが読みやすいテーマとして、「輝こう未来へ」という表現を「かがやこう未来へ」と表しています。

本テーマには、①「感謝」という視点、②「人がつながる」という視点、③「未来への思い」という視点があり、これらの視点を持ち寄り記念事業の構成を検討することとなります。こうした事業構成を念頭においても、事業の立案がしやすいテーマだと考えます。

「ありがとう」「つながろう」「かがやこう」と韻を踏んでいます。

これまで(過去)に対する感謝を踏まえて未来に目を向けるといった時系列を意識した言葉の並びとしています。

● 記念事業のコンセプトに込めた思いやポイント

テーマの要素を反映したコンセプトとしています。

記念事業を通じて、様々な感謝の気持ちを汲み取り、行動に移していくことを目指します。

「クリーン光大作戦」や通学の見守り活動といった地域活動をはじめ、ボランティア活動やライフラインの維持など、人によってまちや自然への感謝の気持ちは多岐にわたると考え、多岐にわたる感謝を意識した表現としています。

「市民一人ひとりの思いをつないで」という表現には、多くの市民による記念事業への参加について期待を込めています。

光市ならではの表現として、「『光』輝く」というフレーズを入れています。なお、「『光』輝く」との表記には、光市が発展するという願いも込め、強調表記としています。

「未来への歩みを進める」という表現には、これまでの歩みを肯定しつつ、さらに未来への歩みを進める主体的な意思を表しています。「新しい一歩とする」といった表現も案としてありましたが、これまでの歩みへの感謝を考えると、「未来への歩みを進める」という表現が相応しいとの結論に至りました。

記念事業一覧

(日程順に掲載)

	事業名	日程
1	光市卓球フェスティバル『卓球教室&トークショー』	5月12日
2	光市消防団操法大会	7月7日
3	新市誕生20周年記念限定「御渚印」の制作及び販売	7月13日～12月27日
4	光花火大会	7月27日
5	市長を目指そう！未来リーダーミーティング	8月3日、4日
6	「光」と「食」のわくわくフェスタ	8月18日～24日
7	市民ホール新市誕生20周年記念イベントコンサート ・きかんしゃトーマス ファミリーミュージカル ・荒巻陽子×松浦航大 最強!!歌マネ LIVE ・イルカコンサート ～あいのたね♡まこう！～	8月～12月 (8月25日) (11月24日) (12月13日)
8	光の海の体験プロジェクト	8月31日(中止)
9	オーサービジット事業(校外編) 柳田理科雄先生講演会	9月1日
10	伊藤公資料館新市誕生20周年 東行記念館・伊藤公資料館連携企画展	9月1日～11月24日
11	第67回中国地区総合バドミントン選手権大会	9月21日～23日
12	うしま丸一日子ども船長体験	9月28日
13	2024光まつり	9月29日
14	光市新市誕生20周年記念式典	10月5日
15	第52回市民夏季大学 石川佳純講演会	10月15日
16	ひかりふるさとまつり	11月10日
17	市勢要覧の作成	(令和5・6年度)

記念事業 光市卓球フェスティバル『卓球教室&トークショー』

● 光市卓球フェスティバル

『卓球教室&トークショー』

開催日 令和6年5月12日（日）

会場 光市総合体育館

来場者数 約1,400名

主催 光市教育委員会スポーツ推進課



- 新市誕生20周年を記念し、本市のスポーツ振興のためオリンピックメダリストの石川佳純さんと平野早矢香さんをゲストに招き、光市卓球フェスティバルを開催しました。卓球教室は、光市卓球スポーツ少年団に所属する選手や光市内中学校の卓球部に所属する生徒を対象に開催しましたが、憧れの選手から直接指導やアドバイスを受ける貴重な機会に、目を輝かせて真剣に聞き入っていました。またトークショーではオリンピックの思い出や子どもたちへのメッセージなど貴重なお話をお伺いできるなど、会場は終始熱気に包まれ、盛会のうちに終了しました。



記念事業 光市消防団操法大会

- 光市消防団操法大会

開催日 令和6年7月7日（日）

会場 光地区消防組合消防本部

来場者数 約200名

主催 光市消防担当部



- 新市誕生20周年を記念し、消防活動に必要な技術の向上と消防団員の士気の高揚を図るため、全地区の分団対抗による操法大会を開催し、市民や消防団員の家族など約200名の来場者に日頃の訓練の成果を披露しました。炎天下の厳しい条件の下、見事なチームワークで優勝した第1分団（浅江地区）が県大会への切符をつかみ取りました。



記念事業 新市誕生20周年記念限定「御渚印」の制作及び販売

- 新市誕生20周年記念限定「御渚印」の制作及び販売
- 光の海の魅力を知っていただくとともに、お祝い機運の醸成や光の海の賑わいの創出等を図るため、神社仏閣を参拝した際に買い求める御朱印を参考に全国初となる「御渚印」を制作しました。市、観光協会が協力して制作したもので、書のデザインには、20周年記念スローガン「ありがとう20年 つながろう人と かがやこう未来へ」を使用したカラクリ文字で室積・虹ヶ浜海岸の文字を表現することとし、カラクリ文字の第一人者で海外でも活躍している書道家の坂口赤道さんに揮毫いただきました。また、背景には、本市を拠点に様々な絵画の創作活動を展開している画家の仁賀井浩子さんによる室積・虹ヶ浜海岸をモチーフとした浮世絵風の風景画を配し、穏やかで光輝く水面や、白砂青松が美しい両海岸の魅力を伝える作品となりました。

海水浴場開設期間中は両海水浴場の案内所、海水浴場閉鎖後から令和6年12月27日まで光市観光協会にて販売しました。



記念事業 光花火大会

● 光花火大会

開催日 令和6年7月27日（土）

会場 虹ヶ浜海水浴場

来場者数 約35,000名

主催 光市観光協会



- 新市誕生20周年を記念して、尺玉10発やメッセージ花火を盛り込んだ計2,500発の花火が海上から打ち上げられ、光市の夏の夜空を美しく彩り、20周年を盛大にお祝いしました。海の家や露店が立ち並ぶ通りと虹ヶ浜海水浴場の砂浜には多くの人々が訪れ、光の夏の風物詩である「光花火大会」を満喫していました。



記念事業 市長を目指そう！未来リーダーミーティング

● 市長を目指そう！未来リーダーミーティング

開催日 令和6年8月3日（土）、4日（日）

会場 光市野外活動センター 周防の森ロッジ

参加者数 中学生リーダー・光ジュニアクラブ 26名

主催 光市企画調整課

- 子どもたちのまちづくりへの参画機会の確保や未来のまちづくりを担う子どもたちの育成を目的に、市長と中学生・高校生との対話事業を実施しました。1日目は、市長と野外炊事等を通じた交流やふるさとの火まつり周防柱松への参加、2日目は、「トリビア×ポテンシャル＝魅力No.1のまち 光市」をテーマに、子どもたちには光市の隠れた魅力や潜在能力を洗い出し、それらを掛け合わせて創りたい20年後の未来の光市の姿と、それを実現するための具体的な事業を提案していただき、市長と意見交換をしました。また、対話の成果は、庁内への周知はもとより、新市誕生20周年記念式典時に光市民ホールロビーに展示し、市民や地域の皆さんとも共有しました。



記念事業 「光」と「食」のわくわくフェスタ

- 「光」と「食」のわくわくフェスタ

開催日 令和6年8月18日（日）

～8月24日（土）

会場 地域づくり支援センター

来場者数 約8,000名

主催 光市観光・シティプロモーション推進課



- 新市誕生20周年をお祝いする機運の醸成を図るとともに、まちの賑わいを創出する企画として、「光」をテーマとした体験型デジタルコンテンツ等を展開すると同時に、キッチンカーによる「食」を提供するイベントを実施しました。開幕セレモニーでは、MCにタレントの兼頭のぞみさんを招き、市長、議会運営委員長参加のもと、来場者とともにクラッカーを鳴らして開幕を祝いました。屋内では、VR空間内で気球に乗り世界の観光地を巡る体験や、大型プロジェクション投影でオリジナル花火を打ち上げたほか、お絵描きしたイラストを海に泳がせたり、線路の上を走らせたりするコンテンツにより、連日会場は大いに賑わい、笑顔であふれました。屋外では、日替わりでキッチンカーを展開し、多くの店舗が夕方前後で完売となるなど大盛況でした。子どもから大人まで幅広い世代の方の来場があり、多くの参加者から「感動した」「とても楽しかった」などの好意的な感想が寄せられました。



記念事業 市民ホール新市誕生20周年記念イベントコンサート

- ・きかんしゃトーマス ファミリーミュージカル
- ・荒巻陽子×松浦航大 最強!!歌マネ LIVE
- ・イルカコンサート ～あいのたね♡まこう!～

● きかんしゃトーマス ファミリーミュージカル

「新ソドー島のたからもの」ニア編

開催日 令和6年8月25日(日)

会場 光市民ホール

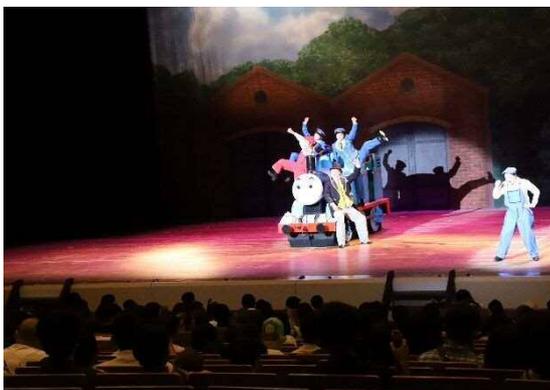
来場者数 752名

主催 公益社団法人光市文化振興財団

光市教育委員会文化・社会教育課



- テレビや映画、本などで人気の「きかんしゃトーマス」のライブショーを子育て世代（ファミリー層）向け事業として行いました。子どもたちは、動くトーマスに大喜びでした。踊りや歌を一緒に行うこと、観客のそばに役者が近づいてくるといった演出に、親も子どもも楽しむことができました。子どもたちの笑顔があふれ、終始和やかな雰囲気には包まれていました。



● 荒巻陽子×松浦航大 最強!!歌マネ LIVE

開催日 令和6年11月24日(日)

会場 光市民ホール

来場者数 829名

主催 公益財団法人光市文化振興財団

光市教育委員会文化・社会教育課



- テレビの歌番組や全国各地のステージで人気のある荒巻陽子さんと松浦航大さんの競演による「荒巻陽子×松浦航大 最強!!歌マネ LIVE」を青壮年向け事業として行いました。数々の本人さながらのクオリティの高いモノマネに観客の方は大盛り上がりで、観客の方のリクエストに応えたモノマネや二人のコラボもあり、圧巻のステージとなっていました。



● イルカコンサート～あいのたねのまこう！～

開催日 令和6年12月13日（金）

会場 光市民ホール

来場者数 627名

主催 公益財団法人光市文化振興財団

光市教育委員会文化・社会教育課



- デビュー50周年を迎えたシンガーソングライターのイルカさんのコンサートを年配者向け事業として行いました。「なごり雪」や「雨の物語」などのヒット曲をはじめとした、数々の名曲に皆さん当時を思い出しながら聞き入っておられました。



記念事業 光の海の体験プロジェクト

- 光の海の体験プロジェクト

開催日 令和6年8月31日（土）【台風により中止】

会場 室積海岸

参加者数 80名（申込者数）

主催 光市農林水産課

- 本市では令和5年3月に、持続可能でより良い世界を達成するための国際目標SDGsの理念を念頭に、生産者と消費者をはじめ、流通関係者等すべての立場から、それぞれが地産地消の好循環を構築するための「指針」として「第4次光市地産地消プラン」を策定し、その指針に基づく取組を進めています。

「第4次光市地産地消プラン」では、本市の水産振興に関する課題として、全国的に魚介類の消費量は減少傾向であり、「魚離れ」の進行が叫ばれる中、子どもたちが身近に「魚」を感じることができないことによる、魚や海への関心の低下を懸念しています。

その課題解決に向け、子どもたちに光の海や魚を身近に感じてもらうため、光市新市誕生20周年記念事業として、海を体験する機会として「地引網」と、環境学習を併せて実施することで、地引網で漁獲される魚とともに海洋ごみ問題等に関する学習機会を創出し、その体験を通して、次代を担う子どもたちが、本市の宝である豊かな海を将来に渡り大切に守っていこうとする自然敬愛精神の醸成を図ることを目的としていましたが、台風10号の影響により、中止しています。

記念事業 オーサービジット事業(校外編) 柳田理科雄先生講演会

- オーサービジット事業(校外編)

柳田理科雄先生講演会

開催日 令和6年9月1日(日)

会場 光市民ホール

来場者数 544名

主催 光市立図書館



- 光市新市誕生20周年記念事業として、オーサービジット事業(校外編)「柳田理科雄先生講演会」を開催しました。昨年度行った「光市の中学生が選ぶYA(ヤングアダルト)本大賞」で上位に入賞した柳田理科雄先生をお呼びしました。柳田先生の著書『空想科学読本』の内容を中心とした面白いトークと実験で、子どもたちの大きな笑い声が会場内にあふれた講演会となりました。終了後には多くの親子が図書館に『空想科学読本』シリーズを借りに来られていました。

今回の講演会では、中学生・高校生を中心とした実行委員会メンバーが、夏休みに打ち合わせや練習を行い、司会をはじめ会場誘導や準備、後片付けなどで活躍しました。



● 伊藤公資料館新市誕生20周年

東行記念館・伊藤公資料館連携企画展

「高杉晋作と伊藤博文～幕末志士の熱き挑戦」

開催日 令和6年9月1日(日)～11月24日(日)

会場 伊藤公資料館

来場者数 2,642名

主催 光市教育委員会文化・社会教育課



- 幕末史における高杉晋作と伊藤博文公の歴史的役割に焦点をあてた東行記念館（下関市）との連携企画展を開催しました。9月1日のオープニングセレモニーでは、「しゅんすけ」と9月2日生まれの13名をお招きして、フラワーケーキを使った新市誕生20周年及び伊藤公の誕生祝いを行いました。企画展では、高杉晋作が持ち歩いた「道中三味線」、療養中の高杉に伊藤公が送った見舞の書簡などを中心に、東行記念館から借用した17点を含む60点の資料を展示しました。期間中は光市や下松市、周南市を中心に、遠くは北海道や東京からも御入館いただきました。また、伊藤公資料館と東行記念館の両館を訪れた方も多くいらっしゃいました。この企画展により、伊藤公の遺徳を広く市内外に広めるとともに下関市との交流にもつなげることができました。



記念事業 第67回中国地区総合バドミントン選手権大会

- 第67回中国地区総合バドミントン
選手権大会

開催日 令和6年9月21日(土)

～23日(月・祝)

会場 光市総合体育館

来場者数 約200名

主催 光市教育委員会スポーツ推進課



- 新市誕生20周年を記念し、光市総合体育館で第67回中国地区総合バドミントン選手権大会を開催しました。中国地区各県から予選を勝ち抜いた約200名の参加者には、光市からも3名の選手が出場するなど光市の競技力の高さも感じることができました。そのほか、S Jリーグに所属する選手も多数出場しており、トップレベルの試合が繰り広げられました。



記念事業 うしま丸一日子ども船長体験

- うしま丸一日子ども船長体験

開催日 令和6年9月28日(土)

会場 室積港

参加者数 6名

主催 徳山・下松・光・新南陽
港区海の日協賛会



- 徳山・下松・光・新南陽港区海の日協賛会が主催し、牛島海運有限会社と光市の共催により開催しました。まず、申し込みのあった光市在住の児童6名へ牛島海運有限会社代表取締役から任命書が手渡された後、うしま丸船員から救命胴衣の着用方法をはじめ、乗船券の発行などの乗船受付、見張りなどの船員業務について教わりました。10時に出航する定期便に同乗して室積港を出発し、20分後に牛島に到着して乗客が下船した後は、牛島周辺のクルーズ体験に移りました。クルーズ体験では、船長からレーダーの見方や船の操舵について教わり、子ども船長一人ひとりが実際に舵を手にとって、船長の指示に合わせて面舵、取舵とうしま丸を操舵して牛島を一周するなど、離島航路に従事する船長や船員の仕事を体験しました。



記念事業 2024光まつり

- 2024光まつり

開催日 令和6年9月29日（日）

会場 光市民ホール及びその周辺

来場者数 約34,000名

主催 光まつり実行委員会



- 新市誕生を祝うまつりとして例年実施している「光まつり」を、20周年記念の特別プログラムを盛り込み、盛大に開催しました。まつり当日は、会場周辺の一部を歩行者天国にして、市内の幼稚園・保育園児による手づくりみこしの共演、特設ステージでの吹奏楽コンサートやダンスパフォーマンスなど様々なイベントを実施したほか、市内商工業者による物産販売コーナーや「光たこめし」などの飲食コーナー、日鉄ステンレス（株）の工場見学が開催され、例年以上の多彩な内容で大いににぎわいました。タレントの松村邦洋さんと yab アナウンサー玉野初季（たまのいぶき）さん（光高校出身）を特別ゲストとしてお招きし実施したスペシャルトークショーや〇×クイズ、まつりのフィナーレを飾る「もちまき」には、青空の下、子どもから大人まで多くの人が集い、皆で新市誕生20周年を祝いました。



「一緒」をテーマにした子どもみこし



もちまき

記念事業 光市新市誕生20周年記念式典

- 光市新市誕生20周年記念式典

開催日 令和6年10月5日（土）

会場 光市民ホール

来場者数 約650名

主催 光市総務課



- 光市新市誕生20周年記念事業として記念式典を開催しました。式典には、来賓をはじめ光市の発展に貢献された方々など約650名が出席し、光市の節目を祝いました。式典のオープニングは、子どもたちによるダンスパフォーマンスで幕を開け、記念表彰では、9名1団体に表彰を行いました。中学生の発表では、市内の中学校6校の代表生徒から「伝えたい光市の魅力」と題した発表が行われました。式典のフィナーレを飾るアトラクションダンスでは、創作ダンスとヒップホップを交えて、旧光市と大和町が誕生し、出会い、合併を経て多様な人が活躍する様子を表現したパフォーマンスが披露され、会場全体が温かい雰囲気になれ、式典の幕を閉じました。



記念事業 第52回市民夏季大学 石川佳純講演会

- 第52回市民夏季大学 石川佳純講演会

開催日 令和6年10月15日（火）

会場 光市民ホール

来場者数 655名

主催 公益財団法人光市文化振興財団
光市文化社会教育課



- オリンピック3大会連続のメダルを獲得した、山口県出身で元プロ卓球選手の石川佳純さんの講演会を一般市民向け事業として行いました。「私の卓球人生を支えたもの」と題して行われた講演では、石川佳純さんの今までの活躍の紹介や新たなチャレンジとしてパリオリンピックにキャスターとして行った際の解説もあり、皆さん熱心に聴かれていました。



記念事業 ひかりふるさとまつり

- ひかりふるさとまつり

開催日 令和6年11月10日（日）

会場 大和総合運動公園

来場者数 約20,000名

主催 ひかりふるさとまつり

実行委員会



- 「伝えよう！ 郷土の文化と実りのよろこび」をテーマに、ひかりふるさとまつりを開催しました。ステージでは青果物品評会や光ひまわりフォトコンテストの表彰、園児のお遊戯や高校生のダンス、もちつき実演、吹奏楽演奏、漁業者によるせりなどが行われ、会場では飲食・物販の出店、チェーンソーアート、森のクラフト体験などが展開され、米や農産物の特別価格販売やクルマエビのつかみ取りには長い行列ができました。最後は「光の恵」当たりつきもちまきに石城山の鬼が登場し、盛況のうちに閉幕しました。



記念事業 市勢要覧の作成

- 市勢要覧の作成
- 新市誕生20周年を契機として、ひかりの魅力を分かりやすくまとめた「光市勢要覧」を発行しました。全20ページのコンパクトな冊子で、普段は意識しない本市の良さや魅力を市民の皆さんに再発見していただくとともに、市外に向けて本市の光輝く未来につながる取組やまちの魅力を紹介するものです。市民フォトグラファーに御協力いただき、市民の方々が見つけたひかりの美しい風景やキラリと光る日常を捉えた写真を掲載しています。また、特別企画として、ふるさとイベント大賞をきっかけとしたご縁がある直木賞作家の角田光代さんの寄稿も掲載しています。

光市新市誕生20周年記念式典で来場者に冊子を配布するとともに、市のウェブサイトやSNSに掲載しました。



参考資料

● 光市新市誕生20周年記念事業推進プロジェクトチーム

(令和5年5月23日 任命)

	組織	氏名	備考
1	企画・マネジメント係	西村 知通	○
2	まちひとネットワーク係	中川 雅文	
3	財政係	轟 泰秀	○
4	地域づくり支援係	梅本 修	
5	環境政策係	山近 義浩	
6	管理係	櫻井 雅和	
7	公園緑地係	曾根 純一	
8	商工労政係	松本 葉子	
9	農政係	影土井 洋治	
10	観光・シティプロモーション推進係	稲木 陽介	
11	子育て支援係	中原 陽子	
12	文化振興係	河原 剛	
13	スポーツ推進係	小田 亜紀子	
14	総務法令係	井口 大輔	◎

※記号… ◎ チーフ、○ サブチーフ

(名簿・令和5年5月時点)

● 新市誕生お祝いアイデア提言板の設置

新型コロナウイルス感染症によって、人と人、人と地域のつながりが弱まりつつあることが懸念される中、20周年記念事業を契機として、地域ににぎわいや明るさを生み出すために、プロジェクトチームが実施主体となり、20周年記念事業に関する市民の想いやアイデアなどを集めるものです。

(1) 提言板の設置

市内コミュニティセンター（12カ所）

提言板を設置中（～7月14日まで）

(2) 学校への依頼

高等学校（2校）、周南公立大学

現在、学校を通じて意見収集を実施

※高校2校は全学年を対象に実施（～7月14日まで）

(3) 募集内容

20周年を迎えるにあたり、こんな催しをしてほしい

市内のお気に入りの場所でこんな企画をしてほしい

20年間のまちづくりを振り返って良かったこと など

(4) 事業期間

6月26日（月）～7月14日（金）

(5) 意見総数（440件）

内訳：地域（全12カ所） 164件

地域（オンライン） 151件

高等学校・大学 125件

(6) 集まった主なアイデア（概要）

●花火に関すること

- ・盛大な花火大会を期待します
- ・色とりどり、様々な形の花火を打ち上げてほしい
- ・「光」の文字花火を打ち上げたらどうか
- ・石城山（島田川）から花火を打ち上げてはどうか
- ・花火大会でチームラボとコラボしてはどうか
- ・室積地区での花火を希望する など

●祭りに関すること

- ・地域の人とご飯が食べたい
- ・光まつりを盛大に実施してほしい
- ・キッチンカーなどの出店を集め、飲食できるお祭りを開催してほしい
- ・湯田温泉の酒まつりのような催しはどうか

- ・グルメ・フードフェスを行ってほしい
- ・流行りの人気店を集めたお祭りをやってほしい
- ・たくさんの屋台の出店がある祭り など
- ライトアップ等に関すること
 - ・20周年を記念し、虹ヶ浜のライトアップを復活（その年限り）する
 - ・光市なので、光にちなんだライトアップの取組があればよい
 - ・冠山総合公園でキャンドルナイトをしたら人が集まるのではないか
 - ・伊藤公記念館にプロジェクションマッピングを など

このほかにも、地引網体験に関するアイデアや有名人を招いてほしいといったアイデアなど、多彩なご意見等をいただきました。

